

さあ、いよいよ明日から3年生は就職試験がはじまります！

そこで、今回は、就職試験特集号です！

1・2年生諸君！そして、「俺、進学だから関係ないしー。。。」などと考えている3年進学の諸君！高校卒業後、どんな進路をたどろうと最終的にはみんな就職することになるのだよ！

しっかり読んでおきましょう！

◆3年就職希望者 いよいよ明日から就職試験！！

今年の3年生は、在籍者89名に対し就職希望者が59名で、内訳は以下のとおり

平成28年度3学年 進路希望状況

種別	進学	就職								合計
		民間				公務員	縁故 自営	就職 未定	就職計	
		管内	県内	県外	計					
男	9	16	11	1	28	3	1	0	32	41
女	21	13	12	1	26	0	1	0	27	48
計	30	29	23	2	54	3	2	0	59	89



その応募先内訳は、以下のとおりです。

<産業別応募先一覧>

	男	女	計
製造業	22	11	33
建設業（電気，ガス，水道業 他）	3	1	4
運輸業・郵便業	2	2	4
卸売業・小売業	1	1	2
サービス業（宿泊，飲食，複合 他）	1	8	9
医療・福祉		4	4
公務	3		3
合計	32	27	59

◆就職試験に挑む生徒数（9月14日 現在）

9月16日（金）	28名	9月21日（水）	2名	9月26日（月）	1名
17日（土）	5名	22日（木）	0名	28日（木）	1名
18日（日）	2名	23日（金）	1名	29日（金）	2名
19日（月）	3名	24日（土）	1名	10月1日（土）	1名
20日（火）	6名	25日（日）	1名	試験日未定	6名

今年の3年生は、民間就職希望者は全員応募先を決定し、9月5日からの各事業所での応募書類受付開始に合わせて、すでに全員分発送を完了しました。すでにほとんどの事業所から試験案内の連絡をいただいておりますが、若干試験日が遅いところがまだですが、おそらく今週中には、ほとんどの通知が届くのではないかと思います。今年は飛び石で連休があるため、ほとんどの企業が連休前に採用試験を終わらせようと16日に選考日が集中することになりました。

試験会場は、各事業所の所在地で行われることがほとんどですが、その会場までの交通手段が不便なところも少なくありません。試験の日程が決まったら、両親とよく相談し、試験当日に確実な交通手段で会場へ行けるようあらかじめ決めておいた方がよいでしょう。

また、事業所によっては、実際の試験日程が求人票に記載されている日程と違う場合もありますし、試験会場が職場見学に行った場所と違う場合もあります。3年生諸君、試験案内の通知をもらったらく読んで、試験日、時間はもとより、試験会場や当日持参する物などもしっかり把握し、絶対間違いのないようにして下さい！

◆就職内定には0%も100%もない！

数々の事業所が、なぜ一度も働いたことのない、何の実績もない高校生を求めているのか、みなさんは考えたことがありますか？

それは、①若くて元気な高卒者を入れると職場の雰囲気が明るくなる ②変な先入観がないので会社独自のルールや方針にすぐに馴染んでくれる ③吸収力が高く新しい事も飲み込みが速く、その姿勢が職場全体にもたらず影響が大きい からです。

つまり、各事業所が求めている高校生は、①元気で明るい人 ②やる気のある人 ③向上心や好奇心が強い人ということになります。通常、「成績の良い人」「欠席日数の少ない人」を採用すると思われがちですが、就職の採用試験においては「元気」「やる気」によって逆転する事はめずらしくありません。就職採用試験では、「100%絶対採用される」という保証も、「絶対採用されない」という確証もありません。要は、「途中であきらめてやる気を失くした人」が負け、「最後まであきらめずに頑張った人」が勝ちです。

「自分は頭悪くて成績も低いからダメだ」とか「こんなにいっぱい休んでしまったからダメだ」とか、本番前に自分で勝手に決め付けて戦う前から負けてる人、いませんか？

過去にとったテストの点数や過去に休んでしまった欠席日数はもう取り返しのつかない数字です。しかし、事業所が求めているのは、「**未来のあなた**」です。今後どうしていきたいのか、今後どう頑張っていくのか、どんな夢があるのか、そんな未来の自分を力強く語ることができれば、いくらでも可能性はあるのです。

採用内定を獲得できるチャンスは、だれにでもあります。

最後まであきらめずに頑張る姿勢が一番大事なのです。



◆就職試験本番！ 何を持っていけばいい？！

すでに、先週の就職試験直前指導で話していることですが、ここで再度確認しておきます。

就職試験の内容は各事業所ごとに様々ですが、注意して欲しいことは、採用内定の基準となるのが、筆記試験の点数とか面接の内容だけじゃないってことです。もっとはっきり言えば、試験会場（その事業所の敷地内）に入ってから出るまでがすべて試験です。

会場までにすれ違った従業員に対する挨拶、会場の受付での挨拶、試験を待っている時の態度、面接を待っている時の態度。。すべてが評価の対象です。特に、筆記試験では、「どれだけ知っているのか」という結果的な点数よりも、わからない問題に対して「どのように取り組んだのか」という忍耐力・集中力の方を重視する事業所が多いです。たとえば、制限時間50分の筆記試験で、30分くらいで一通り問題を解き、あとはわからないからと簡単にあきらめて寝てしまうと、「忍耐力、集中力がない」と評価されますし、「そもそもうちの会社に本気で入りたいのか？」と疑われます。

面接を待っている時の態度も評価のひとつです。足を組んで待っていたり、携帯で時間をつぶしたりする態度は、これも「本気で入社する気があるのか？」と思われます。かと言って、面接の待ち時間は順番によってもまちまちですが、長いと30分以上待たされる場合もあります。そんな時、ただひたすらじっと身動きせずに待っているのは、とてつもなく苦痛です。

そこで待ち時間でじっくり落ち着いて待てるように、

- ①求人票のコピー
- ②試験案内の文書
- ③事業所のホームページを印刷したもの
- ④見学の際にもらったパンフレット
- ⑤進路ノート



などを持っていくことをお勧めします。特に①と②は絶対もっていきましょう。会場に行く途中で事故などに巻き込まれて遅刻しそうな時、連絡先と採用担当者の名前があるので安心です。試験の時間や場所は、意外と思い込みで勘違いして覚えてしまうことがあります。手元にもって、何回でも確認しておきましょう。

⑤進路ノートは、まさにこの時のためのものです！応募前職場見学に行った時のメモ、応募する会社の特徴、志望動機や面接練習で聞かれてうまく答えられなかった質問、面接練習でどんなことを注意されたか。。などをこのノートにまとめておくと、就職試験本番で、緊張している自分を落ち着かせる良いお守りになってくれます。

がんばれ！3年生！！